

大阪国際(伊丹)空港にて、 チェックイン時のタッチパネル非接触化を実施します

2021 年 4 月 15 日

JAL は現在、「JAL SMART AIRPORT(*1)」の取り組みとしてすべてのお客さまに安全・安心な空の旅をお届けするよう、新型コロナウイルス感染症予防対策の取り組みを実施しています。

(*1)IT の活用によるきめ細やかなヒューマンサービス、最新技術の活用による効率的で快適なセルフサービス、衛生・清潔への取り組みにより提供する JAL の新しい空港です。伊丹空港では現在「JAL SMART AIRPORT」へ向けた工事を行っており、2021 年冬頃完成予定です。

このたび、2020 年 3 月に羽田空港国内線に導入した自動チェックイン機のタッチレスセンサを、伊丹空港にも導入が完了しましたのでお知らせします。



タッチレスセンサ



パーティションの設置



定期的な消毒

【1】タッチレスセンサ概要

空港内の自動チェックイン機にタッチレスセンサ(*1)を取り付けることで、操作画面に直接触れることなく、ご搭乗手続きをしていただけます。タッチレスセンサ(*2)から出る赤外線により、お客さまは画面に触れることなく機器を操作することができます(*3)。

(*1)日本エアロスペース株式会社の製品 <https://www.j-aero.co.jp/products/airclick/>

(*2) タッチレスセンサから出る赤外線は一般家庭用機器で使用するものと同じです。

(*3)画面からの距離は自動チェックイン機: 2.5cm

【2】安全・安心の取り組みについて

JAL は新型コロナウイルス感染症予防対策を実施しております。安心してご利用ください。

<予防対策例>

- 地上係員のマスク着用
- カウンターへのパーティションの設置
- チェックイン機、カウンターへの抗ウイルス・抗菌加工
- 定期的な清掃・消毒

以上